

2021年、世界がいまだかつてない状況のなか、
40年前、如月小春が書いたギリギリの声を聞け。
壁を越えたい！ 他者と繋がりたい！
その圧倒的な熱量が、摂氏零度のイメージが、
僕らをANOTHERへ向かわせる。

an-oth-er [ən'ɒðə|də] 形容詞 もう1つの、もう1人の、別の 代名詞 もう1つのもの、もう1人の人

[日時]
2021年 5月 7日(金) 19:30開演
8日(土) 13:00開演 / 17:00開演
9日(日) 13:00開演 / 17:00開演

開場は開演の30分前です。
コロナ対策のため、入場や受付に通常より時間がかかると思われます。
余裕を持ってお越しください。

[チケット] 日時指定・全席自由券。開演の45分前から整理券を配布します。
一般前売 4,000円 一般当日 4,500円 学生 2,500円 (学生証提示)

[チケット予約]



www.ilaboyou.com/book-ticket/

[会場]



京王線仙川駅より徒歩4分
<https://www.sengawa-gekijo.jp/>
〒182-0002東京都調布市仙川町1-21-5



[お問合せ] Tel:090-9306-0880(ホリウチ) Email:labo@happy.email.ne.jp

[協力] 劇団SPAC/演劇集団円/プロダクション・タンク/tea for two

[助成] 公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京

本公演は、国、自治体ならびに関係諸機関により決められた新型コロナウイルス感染症対策ガイドラインにもとづき、ご来場の皆さま・出演者・スタッフの安全・安心の確保に努めて開催いたします。

お客様へのお願い
マスクの常時着用をお願いいたします。
ご入場の際には検温・手指消毒をお願いしています。
発熱・咳などの症状がある場合はご来場をお控えください。

感染症予防対策やチケットの払戻しに関しては、公演HPをご覧ください。

ilaboyou 検索 <https://www.ilaboyou.com/>



photo by 上牧 佑

如月小春(1956-2000)

1980年～90年代に活躍した劇作家。同世代の作家に野田秀樹氏、渡辺えり氏、永井愛氏がいる。「劇団綺崎」(東京女子大学と東京大学の学生劇団。夢の遊眠社とともに駒場小劇場で公演を行っていた)において作・演出を始める。のちに「NOISE」を主宰、独特の詩的言語と身体性を重んじる表現スタイル、音楽の生演奏、映像などとのコラボレーションから、さまざまな実験的舞台を生み出した。

さあ今だ、感電させておくれ！
しびれるほどにも抱き合って、
俺はお前の細いニクロム線の一部になりたい。



www.2020K2P.com

作 如月小春
演出 堀内 仁
音楽・演奏 Darie
近藤達郎

出演 瀧川真澄
大窪 晶
甲斐智堯
中村優子
高木愛香
牧野隆二
栗山辰徳
西尾早智子
小池亮介
吉田真優
伊木哲朗
高橋真紀
五木田美空
尾崎真生
阿部真澄
片桐久文

照明 黒尾芳昭
音響 青木タクヘイ
衣装 ひろたにはるこ
振付 中村優子
舞台監督 伊倉広徳
舞監助手 伊倉浩子
演出助手 五木田美空
制作協力 滝沢志穂
制作補 星見華理奈

助成

制作



www.ilaboyou.com/